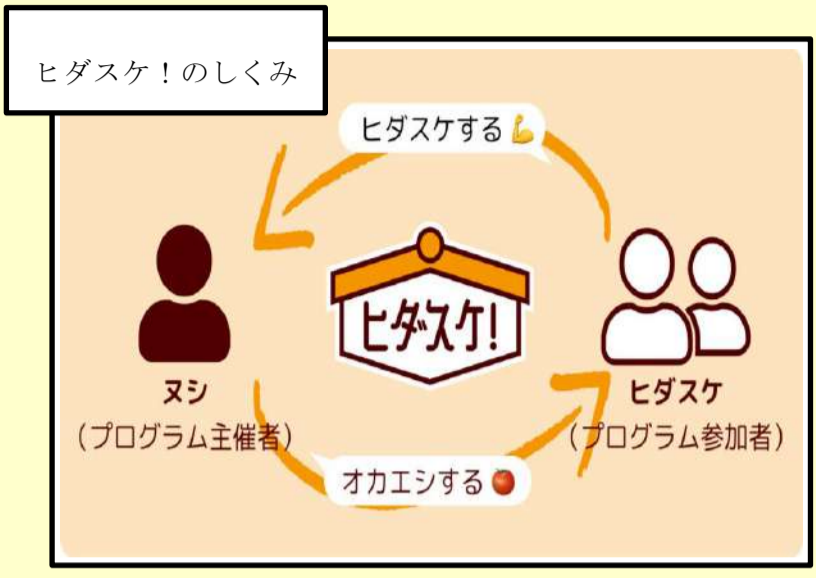


第1回まちづくりアワード(実績部門) 国土交通大臣賞
岐阜県飛騨市

■人口減少先進地の挑戦！地域を超えて支えあう「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」



地域を超えて支えあう「お互いさま」が広がるプロジェクト「ヒダスケ！」

■活動概要

ヒダスケ！は、飛騨市民の「困りごと」と参加者の「お助け」が循環することで、地域との交流と支えあいを創出するプロジェクトです。岐阜県飛騨市内全域を活動のフィールドにし、飛騨市民の困りごとや地域課題を交流の資源として捉え、ポジティブに楽しめる資源に変換する工夫をしています。参加者には、主催者の創意工夫で用意する野菜等のお礼や電子地域通貨「さるぼぼコイン」を使った「オカエシ」を用意するなどして地域経済の一助にもなっています。

■活動内容

全国から参加者を募集して地域課題を解決をしています。ウェブ上でマッチングを可能で、地域や年齢の垣根を超えて幅広く参加者を募ることができます。プログラムは景観保全活動、トマトや桃・りんごなどの農業のお手伝い、古民家リノベーション、商品開発、広報・企画のお手伝いなど現地でお手伝いいただくものからオンラインでのお手伝いまで様々です。

■活動の効果等

地域内外での往来・助けあいが生まれ、「お互いさま」の精神で地域の人々がエリアを超えて助けあう土壌が育まれています。飛騨市内の課題や困りごとの解決の一助になっています。地域内外の方との交流によって活動に力が入ったり、新たな商品化にチャレンジする動きも生まれています。また、移住者が地域の方とつながる仕組みとしても機能しています。人口減少を悲観するのではなく、人口減少に最適化し、地域課題解決をめざします。人口が減少しても「サポーターが増え続ける豊かな地域」を目指し、チャレンジしていきます。

活動や内容に関する写真及び地図



人口減少が進行する中、「地域外の人との交流」がポイントと考え、2017年に飛騨市ファンクラブを設立。現在9,000名を超える会員が所属。ヒダスケ!のプロジェクトを支えています。



宮川町種蔵地区での活動。日本の原風景といわれる集落の景観保全のため草刈りや石積の修繕、特産品みょうが畑の復活を目指して活動し、年間180名を超える方が参加。



農業の繁忙期の人手不足解消の一助になっています。果樹園での飛騨桃・飛騨りんごの収穫、出荷作業のお手伝いやトマト農家で収穫のお手伝いを実施しています。



耕作放棄地で米づくりを行っています。田おこしから田植え、稲刈りまで参加者を募集して実施し、現在は販売方法やPRについてオンラインでアイデア出しを行っています。



空き家の利活用の作業を実施しました。後片付けからDIYの作業まで幅広く作業を実施しています。ヒダスケ!の参加者がその後もシェアスペースとして利用されています。



オンラインツールを使ったことのない高齢者が所属する市内の任意団体も活動や商品のPRのためにヒダスケ!を利用。商品の改善等に活かされています。



顔が見える関係性を大切にし、参加者にはプログラム終了後、飛騨市産の野菜や電子地域通貨などの「オカエシ」をする工夫をして、地域資源の循環を促進させています。



市内で発案されたクラウドファンディングをサポートするため、地元金融機関と協業。地域課題解決や市民のチャレンジを全面的に応援します。